

# 消防だより

今年の出動など(累計)

有田川町消防本部 ☎52・5950  
吉備金屋消防署 ☎52・5950  
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 6件  
救急 : 561件  
救助 : 4件  
(令和元年5月31日現在)

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

## 水難事故にご用心

夏は水辺で遊ぶ機会が増える季節です。

水辺のトラブルは重大事故につながりやすく、子どもの事故は河川で多く発生しています。

次の事項に注意して、安全にレジャーを楽しみましょう。

- ・天候や川の状態には、常に注意しましょう。
- ・川の流れが急なところ、深みには注意してください。地形により流速が増し、急に深くなる場所があります。
- ・もし流されてしまった場合は、流れに逆らわず、安全な場所まで流されるようにし、助けを待ちましょう。

自然を甘く見ず、危険を認識し、計画を立てて行動しましょう。

## 楽しく花火をするために

夜を彩る花火は夏の風物詩。親子でおもちゃ花火を楽しむという家庭も多いのではないのでしょうか。

しかし、毎年7月から8月は、おもちや花火の事故が多発する時期でもあります。事故を防ぐためにも、次のことを守りましょう。

- ・花火に書いてある遊び方をよく読んで、必ず守りましょう。
- ・花火を人や家に向けてたり、燃えやすいものの近くで遊んだりしないようにしましょう。
- ・風の強い日は花火遊びをしないようにしましょう。



- ・水の入ったバケツなどを用意し、子どもだけで遊ばないようにしましょう。
- ・吹き出し・打ち上げなどの筒もの花火は、途中で火が消えてものぞいてはいけません。大けがにつながる可能性があります。

やけどや火災の危険性を知ってもらうため、消防署では「おもちや花火教室」を各保育所で開催しています。

## 災害時の発電機などの使用

北海道胆振東部地震で、停電した室内で発電機を使用し、一酸化炭素中毒で死亡するという事故が数件発生しました。

災害が発生した場合、復旧までにはガスや石油機器、小型発電機などを使用することが予想されます。これらの製品は、使い方によっては火災や一酸化炭素中毒などの事故を引き起こす危険があります。事故防止のため、次の事項に注意してください。

- ・カセットこんろのボンベは、ガスが漏れださないように正しく装着



発電機の例(右部分)

する。また、ボンベカバーまで覆うような大きな鍋や鉄板は使用しない。放射熱でボンベが熱せられて、爆発する恐れがあります。

- ・小型発電機の運転中の排気ガスには一酸化炭素が含まれているため、屋内では使用しない。屋外で使用する場合でも、風通しの悪い場所では一酸化炭素中毒になる恐れがあるので、風通しの良い場所で使用しましょう。